



can

1 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(1)~(2) 次の文を can を使った文に書き換えるとき、空所に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。

(1) You speak English very well.
You (①) (②) English very well.

① () ② ()



(2) Taro is a very good dancer.
Taro (①) (②) very well.

① () ② ()

(3) 次の文を否定文に書き換えるとき、空所に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。

Shinya can sing an Indian song.
Shinya (①) (②) an Indian song.

① () ② ()



(4) 次の文を疑問文に書き換えるとき、空所に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。

Your brother can ride a horse.
(①) (②) (③) (④) a horse?

① () ② ()

③ () ④ ()

(5) 次の文のカッコ内から最も適当なものを1つずつ選びなさい。

Those people ① (is ; can ; do) ② (be ; are ; not) at the concert.

① () ② ()

2 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(1)～(3) 次の文をカッコ内の指示に従って書き換えなさい。

(1) We help Mr. Hayashi every Sunday. (canを使った文に)



(2) I can cook very well. (否定文に)

(3) Do you sing for us this afternoon? (canを使った文に)

(4)～(5) 次の日本語の意味を表すように、次の英文の空所を補って全文を書きなさい。

(4) メアリーは美しい紙の人形を作ることができます。

Mary can () beautiful paper dolls.



(5) わたしの両親はここに6時に来ることができます。

My parents can () here at six o'clock.



疑問詞 1

1 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(1)~(3) 次の日本語の意味を表すように、空所に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。

(1) あなたのお母さんはいつ忙しいですか。

() is your mother busy?

()



(2) わたしの辞書はどこですか。

(①) (②) my dictionary?

① () ② ()



(3) あなたは何時に夕食を食べますか。

(①) (②) do you have dinner?

① () ② ()

(4)~(5) 次の文のカッコ内から最も適当なものを選びなさい。×は何も入らないことを表します。

(4) I study English in (a ; the ; ×) morning.

()

(5) I play tennis (at ; in ; on) Sunday.

()

2 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(1)～(3) 次の対話が成り立つように、カッコ内から最も適当なものを選び、下線部全文を書きなさい。

(1) A : What time is it in Tokyo?

B : It's (in spring ; five o'clock ; on Friday).

(2) A : Where is my CD player?

B : It's (on Sunday ; after lunch ; on the desk).

(3) A : When do you play soccer?

B : I play soccer (in the park ; after school ; at school).

(4)～(5) 次の文を下線部が答えの中心となるような疑問文に書き換えなさい。



(4) I live in Yokohama.



(5) I do my homework after dinner.



疑問詞2

1 次の日本語の意味を表すように、空所に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) 日本では夏休みはどれくらい (の期間) ありますか。

(①) (②) is the summer vacation in Japan?

① () ② ()

- (2) これはだれのベッドですか。

() bed is this?

()

- (3) いつ出発しますか。

() do you leave?

()

- (4) あのペンはあなたのもものではありません。

That pen is not ().

()



- (5) あなたの学校は創立何年ですか。

(①) (②) is your school?

① () ② ()



現在進行形

1 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(1)~(2) 次の文のカッコ内から最も適当なものを1つ選びなさい。

(1) Ken and Hideo (doesn't play ; aren't play ; are playing) table tennis.

()

(2) All the students (is seeing ; are looking at ; is looking at) the teacher carefully.

()

(3)~(5) 次の日本語の意味を表すように、空所に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。

(3) だれかがプールで泳いでいます。

Someone (①) (②) in the pool.

① () ② ()

(4) ケイコは今Eメールを書いていますか。

(①) Keiko (②) an e-mail now?

① () ② ()



(5) あなたの赤ちゃんたちは泣いていません。ぐっすり眠っています。

Your babies (①) not (②). (③) are (④) soundly.

soundly = ぐっすりと

① () ② ()

③ () ④ ()

2 指示に従って、次の問いに答えなさい。

(1)～(2) 次の疑問文に主語と動詞のある文で答えなさい。ただし、カッコ内の指示に従うこと。



(1) Who is using the computer? (Mika and Yukiが答えの中心となる文に)

(2) What is Kimiko doing? (talk on the phoneを使って)

(3)～(5) 次の英文の下線部をそれぞれnowに置き換えて、全文を書き換えなさい。



(3) My father has a cup of coffee every morning.

(4) My mother doesn't take a nap after lunch.

(5) I run in the park early in the morning.



can

1 解答

- (1) ① can ② speak (2) ① can ② dance
 (3) ① cannot ② sing (4) ① Can ② your ③ brother ④ ride
 (5) ① can ② be

解説

canは「…できる」という意味を表す助動詞です。〈can + 動詞の原形〉の形で使います。

I can play the violin. (わたしはバイオリンが弾けます。)

canは主語によって変化することはありません。

- (1) 動詞speakの前にcanを入れます。
- (2) 「タロウはとても上手な踊り手です。」という文は、「タロウはとても上手に踊ることができます。」という文に書き換えることができます。「踊ることができる」は、canのあとに「踊る」という動詞の原形danceを置きます。
- (3) canを使った文の否定文はcannotを用いて表します。また、can'tと短縮することもできます。そのほかの部分を変える必要はありません。
- (4) canを使った文を疑問文にするには、助動詞canを主語の前に出します。

You can swim fast.

Can you swim fast?

この問題ではyour brotherが主語ですから、その前にcanを出します。

- (5) Those peopleが主語なので、まず最初のカッコにあるisは使えません。canだとするとあとには動詞の原形がくるはずなので、beを選びます。doだとするとあとにくるのはnotしかありませんが、do notのあとにくるべき動詞がありません。したがって、canとbeが正解です。これは、「あの人はコンサートに行くことができます。」という意味です。

2 解答

- (1) We can help Mr. Hayashi every Sunday. (2) I cannot cook very well.
 (3) Can you sing for us this afternoon? (4) Mary can make beautiful paper dolls.
 (5) My parents can be here at six o'clock.

解説

- (1) 動詞の前にcanを入れます。そのあとには動詞の原形のhelpがきます。「わたしたちは毎週日曜に林さんを手伝うことができます。」という意味になります。
- (2) もとの文は「わたしはとても上手に料理できます。」という意味です。否定文にするので、canをcannot [can't] にします。
- (3) もとの文は一般動詞を使った疑問文です。DoをCanに変えます。ほかの部分を変える必要はありません。「あなたは今日の午後わたしたちのために歌うことができますか。」という意味の文になります。
- (4) canのあとは動詞の原形がきます。したがって、canのあとには「作る」にあたる動詞の原形makeが入ります。
- (5) canのあとには動詞の原形がきます。「来る」は「(その時刻までに) いる」と考えてbe動詞で表せます。am, is, areのいずれも原形はbeです。したがって、空所にはbeが入ります。

別解 My parents can come here at six o'clock.

疑問詞 1

1 解答

- (1) **When** (2) ① **Where** ② **is** (3) ① **What** ② **time**
 (4) **the** (5) **on**

- 解説** (1) 「いつ」と‘時’をたずねる疑問詞はwhenです。疑問詞は必ず疑問文の最初に置きます。文頭なので大文字で始めることを忘れないようにしましょう。
- (2) 「どこ」と‘場所’をたずねる疑問文なのでwhereを使います。疑問詞のあとは疑問文の語順を続けます。主語のmy dictionary (わたしの辞書) に対応するbe動詞はisですね。Where is my dictionary? とします。
- (3) 「何時」と‘時刻’をたずねるときはWhat time …? を用います。同じく‘時’をたずねるwhenの場合は、具体的な時刻を答える場合もありますが、もっとおおまかな時を答えることもあります。しかしwhat timeでたずねられた場合は、ふつうはat seven (7時に) のように具体的な時刻を答えます。
- (4) 定冠詞のtheは、すでに話題にのぼっていて何を指すかわかっている名詞の前に付けますが、それ以外にも習慣的にtheを付けるものがあります。in the morning (午前中に；朝に), in the evening (夕方に) などの表現は、決まった言い方として覚えてしまいましょう。
- (5) 前置詞にはいろいろな用法がありますから、どのように使われるのかを整理しておきましょう。at, on, inは、どれも時を表す場合に用いられる前置詞ですが、次のように使い分けます。
- | | |
|----------------|--|
| 〈at + 時刻〉 | at eight (8時に), at noon (正午に) |
| 〈on + 曜日・特定の日〉 | on Sunday (日曜日に), on Christmas (クリスマスに) |
| 〈in + 月・季節・年号〉 | in May (5月に), in winter (冬に), in 2004 (2004年に) |

2 解答

- (1) **It's five o'clock.**
 (2) **It's on the desk.**
 (3) **I play soccer after school.**
 (4) **Where do you live?**
 (5) **When do you do your homework?**

- 解説** (1) Aは「東京では何時ですか。」という意味です。このitは時刻を表すときに使う特別な用法で「それは」という意味はなく、日本語には特に訳す必要はありません。in spring (春に), five o'clock (5時), on Friday (金曜日に) の中で時刻を表すのはfive o'clockです。～ o'clock (～時) は「5時」のようにちょうどの時刻を表すときに用い、省略することもできます。
- (2) A「わたしのCDプレーヤーはどこですか。」という問いに対する答えを考えます。on Sunday (日曜日に), after lunch (昼食後に), on the desk (机の上に) の中で場所を表しているのはon the deskです。
- (3) Aは「あなたはいつサッカーをしますか。」という意味です。when (いつ) でたずねられた場合は、時を表す語句を使って答えます。in the park (公園で), after school (放課後), at school (学校で) の中で、時を表しているのはafter schoolですね。

- (4) 「わたしは横浜に住んでいます。」と場所を答えているので、「あなたはどこに住んでいますか。」とすればいいですね。「どこ」とたずねるには疑問詞whereで始めます。liveは一般動詞ですから、疑問文にするときはdoを主語の前に出します。Where do you live? となります。
- (5) 「わたしは夕食後に宿題をします。」と時を答えているので、「あなたはいつ宿題をしますか。」とたずねます。時をたずねる疑問詞whenで始め、疑問文の語順を続けます。「宿題をする」はdo one's homeworkで、このdoは「する」という意味の一般動詞です。問いの文では、my homeworkをyour homeworkとすることに注意しましょう。When do you do your homework? とします。

疑問詞 2

1 解答

- (1) ① How ② long (2) Whose
 (3) When (4) yours (5) ① How ② old

解説

- (1) 「どれくらいの期間…」という時間の長さをたずねるのはhow longです。
 (2) 「だれの～」と質問する文には 疑問詞whoseを使います。whoseはまた「だれのもの」という意味も表します。
 (3) 「いつ…」という時をたずねる疑問詞はwhenです。
 (4) 空所には「あなたのもの」という意味の語が入ります。1語で「～のもの」という意味を表すのは所有代名詞です。2人称の所有代名詞yoursが入ります。
 (5) ものの古さを聞く場合も、年齢をたずねるときと同じ表現how oldを使います。

2 解答

- (1) Which shirt do you want?
 (2) How much do you spend every month?
 (3) Who helps the teacher after school?
 (4) It's hers.
 (5) About 150 centimeters.

解説

- (1) shirtにではなく、that redの部分に下線があります。ということは、「どの」シャツが欲しいか、という質問にすればよいのです。「どの」のように、ある範囲の中から1つ選ばせる場合にはwhichという疑問詞を使います。この場合は、that red shirtがまとまってwantの目的語になりますから、which shirtをひとまとまりとして文の最初に出します。
 (2) about 5,000 yenという部分をたずねます。つまり、「いくら」と「値段」をたずねる疑問文を作るわけです。値段をたずねるhow muchを文頭において、そのあとに疑問文の語順を続けます。
 (3) 主語を問う質問を作ることです。主語は‘人’ですからwhoを使いますが、答えは2人でもwhoは原則として3人称単数扱いになります。したがって、helpという動詞に3人称単数のsを付けます。主語が疑問詞になった場合には、語順は平叙文と同じ〈主語 + 動詞〉になります。

Takao and Kazuki help the teacher after school.

Who helps the teacher after school?

- (4) A「あれはだれの家ですか。」の答えを選ぶ問題です。疑問文の主語はthatですから、答えの文の主語は3人称単数の代名詞の主格itで受けます。動詞はそのままisを使います。ここでは短縮形が使われていますが、it isの短縮形はit'sです。it'sは3人称単数の代名詞itの所有格です。まちがえないようにしましょう。文頭なので大文字にします。It'sのあとは「彼女のもの」という意味を表す所有代名詞hersになります。×her'sという語はありません。なお「彼女の～」という意味を表すには所有格のherを使います。
 (5) how tallは「どれくらい高いか」という意味です。つまり相手の背の高さを聞いているのです。I am about 150 centimeters tall. などと答えるのが適当です。答えの文にあるように、I amを省略し、About 150 centimetersと答えてもよいでしょう。疑問詞のある質問にはyesやnoで答え

ることはありません。

You are **about 150 centimeters** tall.

How tall are you?

なお、アメリカでは背の高さをいうのに「センチ」ではなく「フィート」と「インチ」を使います。
1フィート（one foot）は約30センチで、1フィートは12インチです。

現在進行形

1 解答

- (1) are playing (2) are looking at
 (3) ① is ② swimming
 (4) ① Is ② writing
 (5) ① are ② crying ③ They ④ sleeping

- 解説** (1) 主語は複数ですから、doesn't playのように doesは使いません。また、(×) aren't playのように、aren'tのあとに動詞の原形を続けることはできません。are playingを選び、「ケンとヒデオは卓球をしています。」という文にします。
- (2) 主語のAll the studentsは、-sがついていることから複数だとわかりますから、be動詞はareになります。また、「～を見る」という場合はlook at ~のように前置詞atが必要なことを覚えておきましょう。look at ~が「意識して見る」のに対してsee ~は「自然に見える」という意味を表します。「生徒全員が注意深く先生を見ています。」という意味の文になります。
- (3) 日本文を見ると「泳いでいます」なので、現在進行形にすることがわかります。動詞は〈be動詞 + 動詞の…ing形〉になります。主語はsomeone（だれか）で3人称単数ですから、be動詞はisです。swim（泳ぐ）の…ing形はmを重ねて、swimmingとなります。
- (4) 日本文を見ると「書いていますか」なので、現在進行形の疑問文にすることがわかります。進行形の疑問文は〈be動詞 + 主語 + 動詞の…ing形 ~〉です。主語はKeikoですから、be動詞はisです。write（書く）の…ing形はwritingとなります。
- (5) 日本文を見ると「泣いていません」なので、現在進行形の否定文〈be動詞 + not + 動詞の…ing形〉にすることがわかります。主語が複数なので、be動詞はareを使います。cry（泣く）の…ing形はcryingです。③には主語が1語で入るはずですから、your babiesを代名詞theyで受けます。日本文は「眠っています」なので、最後の空所にはsleep（眠る）の…ing形sleepingが入ります。

2 解答

- (1) Mika and Yuki are.
 (2) She is talking on the phone.
 (3) My father is having a cup of coffee now.
 (4) My mother isn't taking a nap now.
 (5) I am running in the park now.

- 解説** (1) 問題文は「だれがコンピューターを使っていますか。」という意味です。Mika and Yukiが答えの中心になるようにするので、Mika and Yukiが主語になります。Who is ~? という疑問文には〈主語 + be動詞.〉で答えます。主語が複数ですから、be動詞はareになることに注意しましょう。
- (2) 問題文は「キミコは何をしていますか。」という意味です。talk on the phone（電話で話す）を使って答えます。疑問文が現在進行形ですから、答えも現在進行形にします。talkの…ing形はtalkingです。Kimikoを代名詞のsheで受け、She is talking on the phone. とします。
- (3) 「父は毎朝コーヒーを1杯飲みます。」という意味の文です。「毎朝飲む」という現在の習慣を表し

ている一般動詞の文ですが、「今」の状況を表す文にするので現在進行形にします。hasを〈be動詞 + 動詞の…ing形〉に変えてis havingとします。なお、ここでのhaveは「持っている」という‘状態’を表す意味ではないので進行形になることに注意しましょう。

- (4) 「母は昼食後、昼寝をしません。」という意味の文です。「昼食後、昼寝はしない」という現在の習慣を表している一般動詞の否定文ですが、「今」の状況を表す文にするので現在進行形の否定文にします。doesn't takeの部分を〈be動詞 + not + 動詞の…ing形〉に変えてisn't [is not] takingとします。
- (5) 「わたしは朝早く公園を走ります。」という意味の文です。「朝早く走る」という現在の習慣を表している一般動詞の文ですが、「今」の状況を表す文にするので現在進行形にします。runの部分を〈be動詞 + 動詞の…ing形〉に変えてam runningとします。runの…ing形はnを重ねて作ります。